福医大病院を認可

小児疾患「膀胱尿管逆流」の腹腔鏡下手術

厚労省

患者負担減、東日本で初

福島医大付属病院は小児疾患「膀胱（ぼうこう）尿管逆流」患者への腹腔（ふくくう）鏡下手術を先進医療で行える医療機関として、厚生労働省から認可された。東日本では初めての認可で、国内で四施設目となる。福島医大が八日、発表した。

膀胱尿管逆流は尿管から膀胱へのつなぎ目の構造や機能に先天的な異常があるため、尿が腎臓に逆流してしまう病気。小児の約1%が発症し、放置すれば腎炎や腎不全につながる恐れがある。

腹腔鏡を用いた手術は一般的な開腹手術に比べ傷が五～一〇ミリ程度と小さく、出血量を抑えられ、術後の回復までにかかる期間も短い。欧米では患者の負担が少ない治療法として普及している一方、日本では保険診療の対象外となっている。

福島医大付属病院は国内での保険適用を見据えた準備段階として一定の技術や設備などを備え、保険診療との併用が可能となる「先進医療A」の施設に認可された。今後は患者家族の経済的負担の軽減につながると期待される。

団

」

楽天スカウト部の後
関昌彦マネジャーと上
岡良一担当スカウトが

2017年11月9日　福島民報